

文教いしかわ

BUNKYO ISHIKAWA 石川県文教会館 2023.2 No. 87



— 特集 —

1 頁：「令和の日本型学校教育」

石川県教育委員会教育次長 金子 俊一 氏

2・3 頁：特集 いしかわ百万石文化祭2023の開催に向けて

石川県県民文化スポーツ部長（いしかわ百万石文化祭推進室長） 森田 典子 氏

「令和の日本型学校教育」

石川県教育委員会教育次長 金子 俊一



日本の教育は、「学校が学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子どもたちの知・徳・体を一体で育む」ことを核としており、「日本型学校教育」と呼ばれます。

そのことから、日本には「学習指導（授業作り）」の他に「学級経営（集団作り）・生徒指導（自己指導能力の育成）」の教育用語が存在し、これらが教師の職務の本分と位置付けられ、各学校の教育目標は子どもたちの知・徳・体を育む内容となっています。「日本型学校教育」は高い学力と規律性、教育活動で育まれる道徳心や協力性などから、諸外国から高い評価を受けています。

「日本型学校教育」を引き継ぐ新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」を通して実現していく教育成果として、「知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力の育成」に加えて「学びに向かう力・人間性等の涵養」をあげています。これらは、まさに「次代を担う子どもたちの人間力（必要な資質・能力）の育成」であり、『令和の日本型学校教育』として方向性が示され、二つのポイントがあげられています。

一つ目は『個別最適な学び』です。これまで以上に子どもの成長やつまづき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することとなっています。学級経営の基本でもある「子どもを理解し関わっていく教師の力量」が必要です。

二つ目は『協働的な学び』です。集団の中で個が埋没してしまうことのないよう、一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出すこととなっています。学習指導の基本でもある「授業で子どもから多様な考えを引き出し生かしながら学びを深める（学び合う）教師の力量」が必要です。

加えて、『個別最適な学び』『協働的な学び』を実現するには、これまでの実践とICTとを組み合わせることで、教育の質の向上につなげていくことが必要となっており、ICTを活用すること自体が目的とならないよう留意することが示されています。

これらのポイントは、「学習指導」だけに焦点をあてたものではなく、人間力の育成を目指しています。そして、「学

級経営・生徒指導」は、あらゆる教育活動の土台であると言っても過言ではないでしょう。各学校においては、「学習指導」と「学級経営・生徒指導」の両者は車の両輪とし、『令和の日本型学校教育』の具現化に向け、教育実践を進めていきたいと思っています。

一方、不登校・いじめなど、子どもたちの問題行動が全国的な課題となっています。これら問題行動の原因は、「授業がわからない」、「友達と上手いいかない」、「何にも自信が持てない」など子どもたちの心が満たされていないことが原因と思われます。解決していくには、信頼できる教師、仲の良い友達、学校と保護者の協力体制の三つが必須と考えられます。

学校教育においては、まず、学び合う中で、「分からなかったことが分かるようになる」、「できなかったことができるようになる」達成感のある授業づくりが大切です。そのため、教師が日々の指導において適切な学習課題（授業のスタート）とまとめ（授業のゴール）を設定し、スタートからゴールまで子どもたちの考えを生かしてどのように展開するかという構想（イメージ）を持って教壇に立つことが必要です。

次に、子どもたちの存在感ある集団を作りあげる学級経営が大切です。そのため、教師が日々の子どもたちとの関わりにおいて、子どもたちに助け合い協力して生活する良さを感じとらせるとともに、互いに良さを認め合い友達のよさを手本とし自分を成長させていく（友達の良さを手本にして頑張る）気持ちを持たせることが必要です。また、子どもたちが自分の目標に向かって努力する気持ちを育む生徒指導が大切です。そのため、教師が機会を捉えて子どもが一步上を目指す挑戦を促し、支援し成功に導き、子どもたちに「自分も頑張ればできるようになる」と自身を持たせることが必要です。

加えて、学校と家庭がよりよく子どもを育てていくために協力体制を築くことが大切です。そのため、保護者と教師が子どもの様子（よい点、気になる点）や学校や家庭における対応（褒める、指導する）について、あらゆる懇談の場を活用し共通理解しておくことが必要です。

各学校においてこれらのことに取り組み、子どもたちの問題行動の解決と未然防止に努めていきたいと思っています。また、そのことは、子どもたちの人間力を最大限に育む教育力の向上や『令和の日本型学校教育』の具現化にもつながるものと考えています。



いしかわ百万石文化祭2023の開催に向けて

石川県県民文化スポーツ部次長（いしかわ百万石文化祭推進室長） 森田 典子



令和5年秋、本県で開催される「いしかわ百万石文化祭2023」。各地で次々とイベントが行われている。カウントダウンも始まっている現在、準備等で陣頭指揮を執っている森田室長に、国民文化祭の注目イベントなどの紹介とともに、その特徴や魅力についてPRしていただいた。



(31年ぶり2回目の国民文化祭の開催)

令和5年(2023年)秋に、石川県において、31年ぶり2回目となる国民文化祭が開催されます。

今回の大会は、全国障害者芸術・文化祭と一体となって開催するものであり、大会には、子どもから高齢者、障害のある人、外国人など、あらゆる方々に、気軽に参加していただき、本県の文化の魅力を大いに感じていただきたいと考えております。

大会名は、開催県独自の名称として、「いしかわ百万石文化祭2023」としており、会期は、令和5年10月14日(土)から11月26日(日)までの44日間で、大会の「キャッチフレーズ」は、

ぶんかけんらん
「文化絢爛」となっております。

また、大会のロゴマークは、百万石の「百」と「100」の字をモチーフに、伝統工芸の漆器や金箔からイメージした色を使用し、ループ形状により、さまざまな文化を次世代へ継承・発展させていく様子をイメージしたものであります。



【カウントダウンボード
(金沢駅東広場)】

(大会の注目イベント)

今回の大会では、通常、地方では見ることができない皇室に代々受け継がれてきた美術工芸品を間近で鑑賞できる、「宮内庁三の丸尚蔵館名品展(仮称)」を、国立工芸館と県立美術館の2館共同の特別展という形で開催することとしております。

さらに、夜の金沢城公園で大規模な光のアートを展示する「光の祭」や、オーケストラ・アンサンブル金沢の特別公演、加賀宝生能による「道成寺」の公演など、石川ならではの企画を予定しております。

また、能登地区では、キリコ祭や里山里海の魅力を体感できるイベントを企画し、加賀地区では、令和6年春の北陸新幹線県内全線開業を見据え、北陸新幹線沿線県の獅子舞やグルメを集めたイベントを企画するなど、県内各地で大会の盛り上げを図ることとしております。

加えて、「全国障害者芸術・文化祭」としては、障害のある人の文化芸術活動の成果発表の場として、全国から障害のある人のアート作品を募集する「全国障害者作品展」や、障害のある人とない人がともにつくる舞台など実施するほか、障害のある人の鑑賞機会を提供する「手話狂言」や「映画上映会」など、障害のある人が参加できる多彩なイベントを予定しております。

こうした大会のイベントについては、公式リーフレットで紹介しておりますが、県内外から多く



文化絢爛
いしかわ百万石文化祭2023
10月14日～11月26日

【公式リーフレット(表紙)】

大会のロゴマーク

いしかわ
百万石
文化祭
2023



の方が参加できるよう、今後、しっかりと周知していきたいと考えております。

(気運醸成を図るPR活動)

大会開催に向けた気運の醸成を図るため、大会開催1年前より、幅広い広報・PR活動を順次展開しております。

具体的には、開催までの日数を刻むカウントダウンボードを金沢駅東広場や県庁、小松空港、のと里山空港に設置したほか、大会公式ポスターデザインをラッピングしたバスの運行や県内のバスとタクシー約2400台に、大会ステッカーの掲示に協力をいただいているところであります。



【ラッピングバス(R4年11月15日出発式、いしかわ総合スポーツセンター)】

さらに、石川県ゆかりの著名人にもPR活動の協力をいただいております。狂言師の野村萬斎さんには、大会のスペシャルアンバサダーとして、イベントやPR映像への出演のほか、開閉会式総合ディレクターの役割も務めていただいております。



【イベントの様子(R4年10月15日、能登演劇堂)】

また、俳優の田中美里さん、若村麻由美さん、篠井英介さん、辰巳琢郎さん、声優の寺島拓篤さん、タレントの新田さちかさんの6名をアンバサダーに起用し、イベントの出演やSNSでの大会情報の発信など行っていただいております。

このほか、イベント会場に、県内の障害のある人のアート作品を展示したほか、金沢城二の丸御殿の仮囲いを活用し、県内外の障害のある作家が描くアート作品を展示しており、障害者アートの魅力を発信しているところであります。



【金沢城二の丸御殿仮囲いの障害者アート展示】

(県民総参加に向けた取り組み)

今回の大会は、「県民総参加による文化の祭典」を目指しており、県内高等教育機関の学生による道の駅や周辺地域の魅力を伝えるアート作品の制作・展示や、著名な声優と県内高校生が参加する「朗読劇」、さらに、県内各地のアートスポットの写真を募集し、ホームページなどで紹介する「わたしが見つけた100のアート」など、若い世代が参加できる取り組みを充実させております。

また、現在、「広報ボランティア」を募集しており、登録後、公式SNSのフォローやシェアのほか、イベントの様子や大会情報などを、ご自身のSNSで投稿していただいております。

今後は、イベント運営や障害のある人をサポートする「運営ボランティア」も募集していくなど、全国から参加される皆さんを万全の態勢でお迎えするため、多くの県民の皆さんに大会に協力していただき、県民総参加で大会を成功させていきたいと考えております。

事業報告

教育資料収集整理事業

例年11月に実施している「いしかわ教育ウィーク関連事業」では、資料調査員の学習会を兼ねた「教育史セミナー」と、多くの方から寄贈していただきました教育資料を県民の皆様にご紹介する「教育資料ロビー展」を開催しております。今年度は「コロナ禍と学校教育」をテーマにしたセミナーと、石川県の“昔の学校と先生”にスポットを当てた展示を行いました。

教育史セミナー

令和4年11月4日(金)

「学校教育の未来 ～コロナ禍において校長が考えたこと～」

昨春退職した校長先生を迎え、コロナ禍で学校教育の常識が覆る中、学校経営の工夫やご苦労について聞くと共に、改めて学校教育の役割やその未来について考える機会としました。

それぞれの校種で大切にしてきたことや、学校の取り組みを中心となって牽引してきた校長先生からのお話、参加者は驚きと共感を持って熱心に聞き入っていました。

「日々変化し、進化している学校教育を実践していく先生方と子供たちに大きな期待を寄せています。そして精一杯応援しています！」などの感想が寄せられました。



オンラインを含め、大変多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。



「いしかわ教育ウィーク」関連行事

令和4年11月1日(火)～7日(月)

文教会館所蔵 第246回教育資料ロビー展 いしかわの学校 ～学校教育の歴史を見つめて～

今回は「戦後の学校や子どもたちの様子」、「いしかわの教師たちの足跡」、「歴史を刻んだ学校年誌や閉校記念誌」の3つのテーマに分けて展示を行いました。寄贈資料等をできるだけ県民の皆様にご覧いただきたいと思い、その機会を設けております。先生方が書かれた書籍、長い歴史を刻んだ閉校記念誌など、貴重な資料が数多く展示されました。

多くの皆さんにご来場いただき、ありがとうございました。



事業報告

第35回 いしかわ県民陶芸展

第35回「いしかわ県民陶芸展」が、4階和室大会議室で開催されました。県内の陶芸愛好家の皆様から数多くの力作が寄せられ、一般80点、青少年102点、招待作品等3点の合計185点にのぼりました。また、6歳から93歳と幅広い年齢層の方に出品いただきました。

審査員の先生方からは、「土と手が触れている瞬間に“土”からのメッセージを感じてほしい。青少年の皆さんは、技術が伴わずとも自分の考えをもとに、のびのびと思うがままに作品を創っている。石川県には“焼き物”の様々な分野があるので、本県ならではの展覧会を県民の皆様にご覧いただきたい。」との感想をいただきました。

会期中は、多くの方々に鑑賞していただき、盛況のうちに幕を閉じました。ご出品いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、企画委員をはじめ運営を支えてくださいました皆様に心から感謝いたします。誠にありがとうございました。

★石川県教育委員会賞（一般・青少年）各1点★



- ホルストに捧ぐ
組曲「惑星」
小野 富貴絵
(一般・能美市)

【審査員寸評】
釉薬のかけ方に関しても、作りに関しても、リズム感のある力強さを感じる作品。特に釉薬のかけ方は秀逸である。

● 見えざる手

近藤 友磨 (県立工業高校)

【審査員寸評】

一番手数のかかった作品。見れば見るほど発見がある。肌感と色・形、陶芸の全ての物が詰まった作品。



展示の様子



作品解説の様子

期間：令和5年1月21日(土)～1月29日(日)

いしかわ県民陶芸大賞

● 烏(からす)神野 友優子 (県立田鶴浜高校)



【審査員寸評】

審査員一同、心奪われる文句のない作品。焼成・施釉が上手い。また、目つきが最高で、目がこの作品の印象を決定づけている。

★文教会館理事長賞（一般・青少年）各5点★

【一般】

- 支えあう「人」
浅井 一成
- オブジェ
中嶋 倫子
- 花器「縫う」
盛本 立子
- Sea hedgehog
川原 小波
- 九谷焼器三点「牡丹」
西崎 百合子

【青少年】

- 海底のお城
中田 美玖
- シベリアンハスキー
佐々木 颯汰
- SCP-1020
原 透和
- 宵の海月
森 心音
- 土力
三上 颯輝



表彰式の様子

1月22日(日)悪天候が予想されましたが、天にも味方していただきたくさんの人たちが出席された中、表彰式が執り行われました。

次年度、第36回いしかわ県民陶芸展は、11月11日(土)～11月19日(日)を予定しております。「いしかわ百万石文化祭2023」の応援事業として実施いたします。陶芸が大好きな愛好家の皆様方のご出品を心よりお待ちしております。奮ってご参加ください！

事業紹介

文教アートウェイブのご案内

～演劇・演奏会・リサイタル等にご利用ください～

文教アートウェイブ事業では、地域文化の振興を図ることを目的に演劇や演奏会などの公演を希望される方に利用料を無料でホールをお貸ししています。(別途有料設備費有)。

公演ご希望の方は文教会館事業課まで一度お問い合わせください。

【今後の公演予定】

●令和4年度

金沢伏見高校文化部発表会 令和5年3月18日(土) 13:00～ ◆入場無料

合唱団水星演奏会 令和5年3月21日(火・祝) 16:00～ ◆入場無料

金沢泉丘高校合唱部 令和5年3月25日(土) 14:00～ ◆一般500円

金沢市立西南部中学校合唱部 令和5年3月26日(日) 16:30～ ◆入場無料

●令和5年度

アートウェイブ初参加!の一般団体、県立高等学校定期演奏会など予定しております。

※【令和5年度】に公演ご希望の場合についても一度お問い合わせください。



令和6年度の

アートウェイブ公演募集期間は

令和5年5月1日(月)

～9月30日(土)まで。

お待ちしております!

令和5年度 文教国際理解講座のご案内

～ネイティブスピーカーによる異文化理解講座です～

講座名	内容	曜日	講座時間
英米文化 初級	挨拶程度の会話をしよう (英検3級程度)	木	午前・午後
英米文化 準中級	英語で簡単な会話ができるように (英検準2級程度)	水木	午前・午後 午前
英米文化 中級	英語で日常の会話ができるように (英検2級程度)	火木	午前 午後
英米文化 上級	日本語同様に会話ができるように (英検準1級程度)	火	午後

※講座時間(100分)※

午前) 10:00～11:40

午後) 18:30～20:10

実施期間: 令和5年5月～

令和6年2月

対象: 教職員・一般・高校生

定員: 1講座20名程度

受講料: 年額36,000円(年35回)

(教材は実費負担)

応募期間: 令和5年3月10日(金)

～4月10日(月)



※応募期間が過ぎても
定員に空きがある場合は、
途中入会できます!

文教国際理解講座

検索



令和5年度 「教育文化研究会」募集のご案内

※参加ご希望の方は、文教会館事業課までお問い合わせください

	研究会名	定員	年会費	内容	日時
I	もっと知りたいアジア	10名	3,000円 全6回	アジア文化圏の地理、歴史、時事問題に関心を寄せ、ときにはビーズやアジア料理なども楽しむ。	奇数月第2土曜日 14:00～16:00
II	源氏物語を楽しむ	10名	11,000円 全22回	『源氏物語』の原文をはじめ、さまざまな文献にあたり古典の奥深さを味わう。	第1・3土曜日 10:00～12:00
III	茶道入門教室	10名	11,000円 全22回	初心者のための茶道入門。お茶のいただき方、簡単なお点前、作法を1年間で学ぶ。(流派:表千家)	第1・3月曜日 12:00～16:00
IV	近世芸能研究会	15名	12,000円 全24回	漢詩・短歌・俳句をとおして詩吟を探求する。	第1・3木曜日 18:00～19:00

※文教国際理解講座・文教アートウェイブ・教育文化研究会は、「いしかわ県民大学校」の連携講座です。

※まずはお電話でお問い合わせください。石川県文教会館 事業課 TEL: 076-262-7311

事業紹介

教育資料収集整理事業 文教会館教育資料ロビー展のご案内

当財団では、教科書や教育用具・教育文献等の県内の貴重な教育資料の収集保管に努めています。その一環として、当館の1階ロビーで、年間を通し、収集資料や県立学校等の特色ある教育活動を紹介しています。令和5年度は16回のロビー展（県内学校の60校の出展）を予定しています。当館のロビー展が県民の皆様にとって、教育に対する関心と理解を深める機会となれば幸いです。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

令和5年度 教育資料ロビー展（予定）

場所：文教会館1階ロビー 入場無料

No.	期間	展示名	内容
255	4月	文教会館収蔵資料公開展 ～令和4年度収集品の紹介～	令和4年度の収集資料等
256	4月～5月	学校の一年をふり返る	令和4年度の県立学校等の刊行物（学校新聞・生徒会誌等）
267	11/1(水)～20(月)	「いしかわ教育ウィーク」関連行事	文教会館40年の歴史を振り返る ～創立40周年を記念して～
274	3月	文教会館のあゆみ	令和5年度文教会館のあしあと
特色ある学校の活動			5月～3月
No.	期間	学校名	展示テーマ（仮）
257	5/10(水)～5/22(月)	県立金沢泉丘高等学校	課題研究活動紹介
		県立羽咋工業高等学校	学校活動紹介
258	5/26(金)～6/8(木)	金沢大学附属中学校	教科書「創造デザイン科」について
		県立工業高等学校	学校紹介
259	6/13(火)～6/25(日)	県立宝達高等学校	学校紹介
		金沢大学附属高等学校	探究ゼミ 課題研究紹介
260	6/29(水)～7/10(月)	県立小松高等学校	SSH・NSH 課題研究紹介
		県立穴水高等学校	地域とともに成長する穴水高校
261	7/14(金)～7/25(火)	金沢市立工業高等学校	課題研究作品展示
		県立田鶴浜高等学校	看護師、介護福祉士を目指して
262	7/28(金)～8/9(水)	県立鶴来高等学校	学校紹介
		県立金沢辰巳丘高等学校	大きな明日へ
263	8/18(金)～8/29(火)	小松市立高等学校	学校活動の紹介
		県立大聖寺実業高等学校	地域と連携した教育活動
264	9/5(火)～9/18(祝・月)	県立金沢二水高等学校	金沢二水高校の教育活動
		県立金沢中央高等学校	70年の取り組み
265	9/22(金)～10/3(火)	県立羽松高等学校	学校紹介
		県立寺井高等学校	学校紹介と作品展示
266	10/6(金)～10/17(火)	県立七尾城北高等学校	学校紹介
		県立金沢泉丘高等学校（通信）	学校紹介（仮）
267	11/22(水)～12/3(日)	県立金沢錦丘高等学校	総合的な探究の時間の取り組み
		県立門前高等学校	門前高校の活動について
268	12/8(金)～12/20(水)	県立錦城特別支援学校	錦城特別支援学校 作品展示
		県立七尾特別支援学校（輪島分校）	学校紹介
269	1/11(水)～1/22(月)	県立野々市明倫高等学校	学校紹介
		県立金沢西高等学校	石川県立金沢西高等学校について
270	2/9(金)～2/20(火)	県立いしかわ特別支援学校	教育活動の紹介
		県立七尾特別支援学校（珠洲分校）	教育活動の紹介
271	2/23(祝・金)～3/7(水)	県立大聖寺高等学校	学校紹介
		県立金沢伏見高等学校	金沢伏見高校紹介
272	3/14(金)～3/25(火)	県立七尾東雲高等学校	学校紹介
		県立能登高等学校	学校紹介
273	3/28(金)～4/9(水)	県立志賀高等学校	学校紹介
		県立輪島高等学校	地域の魅力を発信する輪島高校
274	4/13(火)～4/25(日)	県立医王特別支援学校	季節の飾り
		県立七尾特別支援学校	児童生徒の創作品
275	4/28(金)～5/10(水)	県立加賀高等学校	加賀高校紹介
		県立翠星高等学校	食・農・環境を学ぶ翠星高校
276	5/14(金)～5/25(火)	県立飯田高等学校	学校紹介
		県立小松商業高等学校	学校の概要（取り組み）
277	5/28(金)～6/9(水)	県立金沢桜丘高等学校	学校行事
		県立明和特別支援学校	明和特別支援学校の紹介
278	6/13(火)～6/25(日)	金沢龍谷高等学校	未定
		県立内灘高等学校	学校紹介
279	6/29(水)～7/10(月)	県立津幡高等学校	津幡高校の活動報告
		県立七尾高等学校	SSH・NSHの活動について
280	7/14(金)～7/25(火)	県立盲学校	学校紹介
		県立小松明峰高等学校	小松明峰高校 学校紹介
281	7/28(金)～8/9(水)	県立小松北高等学校	学校紹介
		県立金沢向陽高等学校	学校紹介
282	8/13(火)～8/25(日)	県立鹿西高等学校	鹿高生の活動
		県立加賀聖城高等学校	錦成山プロジェクトのとりくみ
283	8/28(金)～9/9(水)	県立金沢北陵高等学校	学校紹介
		県立小松特別支援学校	学校紹介と作品展示
284	9/13(火)～9/25(日)	県立小松瀬戸特別支援学校	本校の紹介
		県立小松工業高等学校	学校紹介
285	9/28(金)～10/10(水)	県立松任高等学校	学校紹介
		県立金沢商業高等学校	学校紹介および金商デパートの歩み
286	10/14(金)～10/25(火)	県立ろう学校	学校紹介

ロビー展の様子

志賀高校



金沢伏見高校



小松商業高校



羽松高校



いしかわ特別支援学校



これまでのロビー展の様子は当館ホームページからご覧いただけます。
また、YouTubeでも動画を配信しています。どうぞご覧ください。

施設紹介

文教会館の施設ご利用について — 教育文化の発信に 研修・会議・交流の場 —

新型コロナウイルス感染予防策として、来館者にマスクの着用を求めるほか、手指消毒用アルコールの設置、非接触型体温計の貸出し、ドアノブ・手すり等こまめに消毒液による清掃を実施しています。

研修や会議、交流の場としてご利用ください。一般の方もご利用いただけます。
お気軽にお問い合わせください。

～施設設備案内～



各種演奏、ご公演などに適した音響・照明完備のホールです。
(590席)



★新情報★ホールにもWi-Fi完備！！

これまで大会議室、和室大会議室など、ほとんどの会議室にWi-Fi機器を設置いたしました。新しくホールにもWi-Fi機器を設置いたしました。会議室同様Wi-Fi機器は無料（一回線のみ）でご利用いただけます。（一回線のみ常設で、二、三回線目もご利用は可能ですが外部業者による工事が必要です。）
これまで以上にご利用の幅が広がります。ぜひご利用ください。

喫茶コーナー「エース」よりお知らせ

～会議の合間にちょっとコーヒーブレイク～

5人以上で会議室をご利用の際は、5杯以上のご注文で、ホットコーヒー・アイスコーヒーを、それぞれ1杯あたり200円（税込み）で提供させていただきます。（土曜、日曜、祝日を除く。）
スタッフ一同ご注文をお待ちしております。



ビーフカレーセット
食後のコーヒー付き
650円



喫茶コーナー「エース」ではコーヒー、紅茶など各種お飲み物や、トースト、ピラフ、パスタ、カレーライス、カレーうどんなど軽食をご用意しております。
コロナ対策にアクリル板も設置しております。

トースト	210円
カレー	390円
ピラフ	360円
カレーうどん	360円
パスタ	360円

石川県文教会館は令和5年、創立40周年を迎えます。

街中のオアシス「文教会館」をぜひご利用ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

